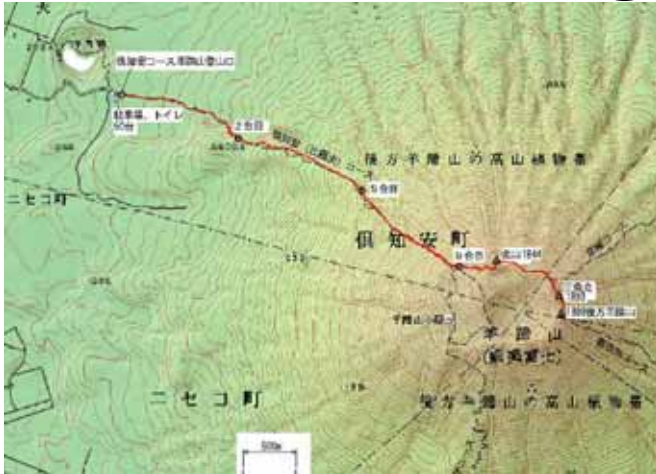


6 月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田 廣一	参加 メンバー	CL:津田 廣一 利栄子
		報告日	07/11		
山 域	北海道	山行日	12 年 06 月 30 日(土)		
山 名	後方羊蹄山				
山行目的	北海道の山を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
集会:12
山行: 1
リーダー
原紙: 集
会担当者

ルート図 (地図を見て正確に)



2.5 万分の 1 地図: 羊蹄山、倶知安

6/30 晴れ
04:30 ペンション発
05:00 登山口(半月湖野営場)発
05:50 2 合目 1 本(10 分)
06:20 3 合目(通過)
06:35 4 合目(通過)
07:00 5 合目 1 本(5 分)
07:30 6 合目(通過)
07:55 7 合目 1 本(10 分)
08:30 8 合目(通過)
08:40 9 合目(通過)
09:15 北山 1 本(5 分)
09:40 後方羊蹄山山頂
11:10 8 合目 1 本(5 分)
12:05 5 合目 1 本(5 分)
12:55 2 合目 1 本(5 分)
13:35 登山口下山
(移動)
14:30 ニセコ昆布(泊)



山行報告 昨日、礼文から稚内へフェリーで渡り、レンタカーを借りて、稚内から予約したニセコのペンション(倶知安)まで約 450kmを移動した。4 時起床で、お願いしたお握りを受け取り、4 時半にペンションを出発。凄い霧で前が見えない。ペンションのご主人に聞くと、晴れの日はこの調子との事。15 分で登山口へ。登山靴に履き替えて出発。平坦な道を準備運動を兼ねながら進む。風穴とあるが、見にいてもひんやりとはしない。傾斜のある登山道に変わり、1 時間弱で 2 合目、1 本。お握りを頂くがでかい(手の平一杯ぐらい)。二人で半分づつにした。食べている間に数パーティが通過していった。腹ごしらえをして歩きだすが、樹林帯の中、日差しは遮ってくれるが、風がなく暑い。1 時間歩いて 5 合目、1 本。団子を 1 本半づつ食べる。急勾配となる中、つづら折りの道を黙々と歩く。7 合目にて 1 本、ゼリーとバナナを食べる。休憩していた男性が、「今日は暑いね」と、声をかけて来る。とても北海道の山とは思えない。いよいよ急勾配を登り、9 合目となるが、ガレ場下の為、そのまま通過。道端に色々な高山植物が咲いており、疲れを癒してくれる。火口壁の一部の北山へ登った所で、すごい風が吹いている。ヤッケを着込んで、水分補給。強風を我慢し、火口壁上の道を、頂上へ向かって進む。途中、三角点にタッチして、9:40 に頂上に到着。今回、百名山の 2 座目だ。握手をして写真を撮ってから、風を避けてお昼にする。でっかいお握りとおかずを分け合って食べるが、事の外、美味い。デザートにゼリーもペロリ。30 分程、山頂の眺望を楽しみ、頂上を後にする。疲労を考え、お鉢巡りは止めて、登ってきた道を忠実に

降る。1 時間を目安に休憩しながら、13:35 に登山口へ到着。今夜の宿であるニセコ昆布(泊)で、温泉着をまとった妻と露天風呂で汗を流し、サービスの地酒に快く酔って 1 日が終わった。



確認
(リーダー)

津田

12.7.11

作成
(報告者)

津田

12.7.11

翌日、観光で洞爺湖・有珠山を廻り、支笏湖の苔の洞門に立ち寄って、6 日間の山旅を終了した。全日、天候に恵まれた大旅行であった。感謝!

リーダー所見

利尻・礼文だけでなく、後方羊蹄山まで、無事に妻と登れたのは、本当に良かったと思う。テレビのニュースによると、羊蹄山に登った日は、北海道の最高気温を更新したとの事だった。当たり前的事だが、無理せずに、終始ポレポレペースを保ったのと、水分補給をまめにしたのが良かったのだと思う。これからも、妻との山も楽しんでいこうと思っている。